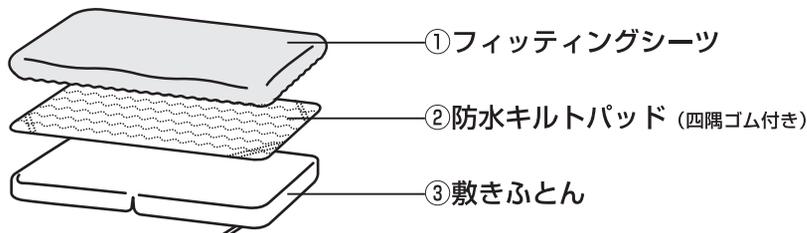


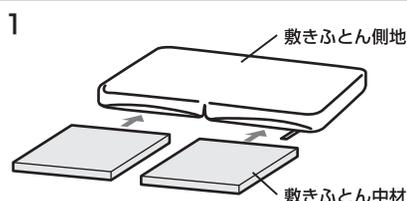
羽毛ふとんセットのご使用にあたって

ご使用前に本書をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は大切に保管してください。

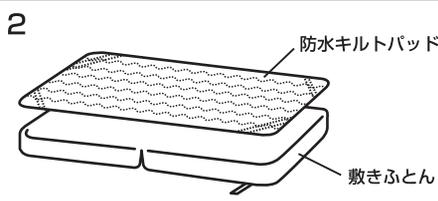
敷きふとんの組み合わせ方法



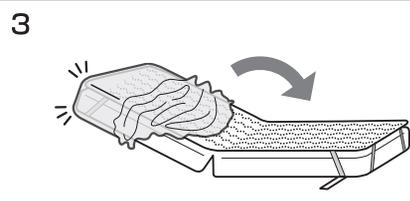
敷きふとんのセッティング方法



敷きふとん側地に、敷きふとん中材をセットします。中材は縦横でサイズが違い方向性がありますので、注意してセットしてください。



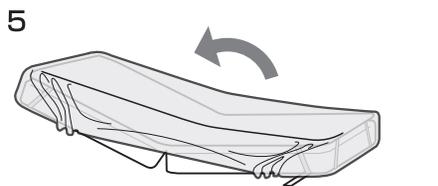
ストラップが床側にくるよう敷きふとんを置き敷きふとんの上に、防水キルトパッドをゴムがついている面を下にして重ね、ゴムを敷きふとんの四隅に確実にかけてください。



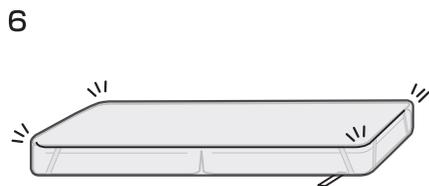
ずれないように片側にだけフィッティングシートをかぶせます。



シートをかぶせた側を起こし、折りたたむように近づけた状態で、もう片側にシートをかぶせます。



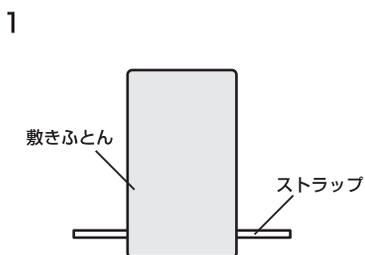
防水キルトパッドがズレないように、両側をしっかりと持ち、敷きふとんをもう一度広げます。



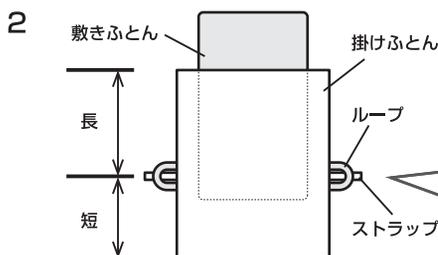
わきから手を入れて、中身を整え、シワやたるみができないよう取り付けたら完了です！

顔がかり防止ストラップの取り付け方法

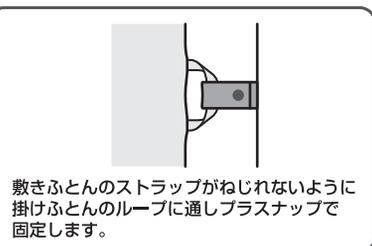
レギュラーサイズ



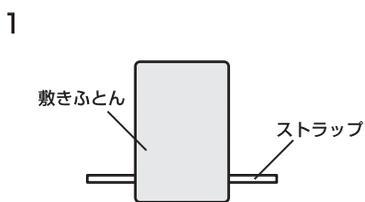
ストラップがお子さまの足元にくるようにセットした敷きふとんを置きます。



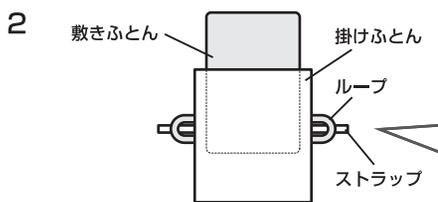
掛けふとんを上重ねます。
※掛けふとんは足元側が短くなるようにセット



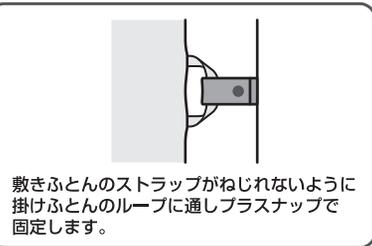
ミニサイズ



ストラップがお子さまの足元にくるようにセットした敷きふとんを置きます。



掛けふとんを上重ねます。
※ミニサイズに上下の方向性はありません。



ワンポイント
掛けふとんは、掛けふとんの上部がお子さまの胸下にかかる位置でご使用ください。

掛けふとんカバーをガーゼケットとして使用する方法

中材（羽毛掛けふとん）を取り出しファスナーを閉じれば季節に応じガーゼケットとしても使用できます。

使用時の注意事項



- ・うつぶせ寝での使用は窒息死の危険性が高まりますのでお避けください。1才になるまでは、必ずあお向けに寝かせてください。
- ・赤ちゃんは寝ているときも手足を動かすなどよく動きますので、うつぶせにならないように必ずそばで注意をはらってご使用ください。特に寝返りがうてるようになるまでは目を離さないようにしてください。
- ・敷きふとんの上には顔が沈み込むような、やわらかい敷物は使用しないでください。
- ・また、お子さまの顔まわりや手の届くところに鼻や口をふさぐようなハンカチやタオルなども置かないでください。
- ・鼻や口に密着すると呼吸困難や窒息につながるおそれがあります。
- ・まくらをあお向け寝の時のみ、ご使用ください。
- ・お子さまを寝かせたまま、ふとんと移動させないでください。
- ・フィッティングシーツは必ずご使用ください。また、シワやたるみができないように正しく装着してください。
- ・フィッティングシーツがはずれ、防水キルトパッドのたるみが鼻や口に密着したり、防水キルトパッドの四隅にあるゴムが首に絡むなどすると、窒息につながるおそれがあります。



- ・お子さまを寝かせる目的以外には使用しないでください。
- ・お手入れ方法は各製品の取り扱い表示に従ってください。
- ・中材（羽毛掛けふとん、敷きふとん）は単体で使用せず、必ずカバーや側地を取り付けてご使用ください。
- ・羽毛掛けふとんは、小さな穴でも羽毛が飛び出しますので、絶対に針や安全ピンなどでカバーなどを取り付けしないでください。
- ・敷きふとん中材はお子さまが触れないよう、手の届かない場所で取り付け、取りはずしをしてください。
- ・洗濯後乾いた側地はすみやかに中材に取り付けてください。側地を取り付ける際はファスナーで中材をはさまないようにしてください。
- ・敷きふとん中材をビニール袋から取り出す際や、敷きふとん側地を洗濯する際など、取り出した中材の素材片が出る場合があります。見かけた際はすみやかに捨ててください。
- ・敷きふとん中材にアイロン、ドライヤー、ふとん乾燥機、電気毛布等の温熱器具は使用しないでください。
- ・敷きふとんは、ストラップ使用の有無にかかわらず、必ず足元にくるようにしてご使用ください。
- ・ストラップ未使用時は、プラスナップを閉じて、敷きふとんとフィッティングシーツの間に入れ込んでください。ストラップに引っかかったりプラスナップを踏むなど、ケガや破損のおそれがあります。
- ・ストラップで掛けふとんを固定しているときは破損などのおそれがありますので、掛けふとんを無理に持ち上げないよう注意してください。
- ・お子さまの成長や状態によって、顔がかり防止ストラップの使用に不安に感じる方は、使用をお控えください。

敷きふとん側地、掛けふとんカバー、フィッティングシーツ、まくら、まくらカバー、防水キルトパッドの洗濯について

- ・ご使用の洗濯機の取扱説明書に従い洗ってください。
- ・カバー類は中材を取り出してください。
- ・掛けふとんカバー、敷きふとん側地はファスナーを閉じてください。
- ・洗濯ネットをご使用ください。
- ・敷きふとん側地を洗濯する際は、単独で洗濯ネットに入れてください。ストラップ部分が他の物に引っかかるおそれがあります。
- ・蛍光増白剤を含まない洗剤をご使用ください。
- ・白物と色物は一緒に洗濯をしないでください。
- ・形を整えて干してください。
- ・まくら本体はすすぎを十分に行い、脱水機か手しぼりで弱くしぼってください。
- ・防水キルトパッドの洗濯時は他の物と一緒に洗わないでください。フィルムが破れる場合があります。
- ・防水キルトパッドは水を通さないで洗濯機での脱水はお避けください。

羽毛掛けふとん（中材）の洗濯について

- ・ご使用の洗濯機の取扱説明書に従い高水位で単独で洗ってください。
- ・コインランドリーなどでの洗濯・乾燥は、生地や詰めものの傷みや破損、片寄りなどが発生する場合があります。
- ・洗濯の際は洗濯ネットを使用し、蛍光増白剤を含まない中性洗剤をご使用ください。また、すすぎを十分に行い脱水機か手しぼりで弱くしぼってください。
- ・干す際は、風通しのよい場所に干し、羽毛の片寄りを防ぐため、乾燥途中でふとんの向きを変えるなどして羽毛をほぐし、十分に乾燥させてください。
- ・乾燥機を使用する際は、つど乾燥の状態を確認しながらご使用ください。
- ・乾燥機で乾燥させたあとは粗熱をとるため外で干し、粗熱がとれたあとはよく乾燥ができていないかご確認ください。
- ・完全に乾燥したことを確認して、掛けふとんカバーを取り付けてからご使用ください。

敷きふとん（中材）の洗い方について

- ・中材は洗濯機では洗うことができません。
- ・シャワーや流水で汚れを洗い流す水洗い、または40℃限度のぬるま湯でのお湯手洗いをしてください。
- ・汚れがひどい場合は、中性もしくは弱アルカリ性の家庭用洗剤をご使用ください。食器洗い用液体洗剤は使用可能ですが、シャワーや流水でのすすぎを数回繰り返すなど、十分に水洗いをして洗剤が繊維に残らないようにしてください。
- ・水洗い、お湯手洗いは後は表面を軽くたたいてよく水切りをし、乾いた布で水分をふきとってください。
- ・水切り後は、日光があたらない、風通しの良いところで十分に陰干しをしてください。
- ・乾燥後はすみやかに側地を取り付けてください。

コンビ株式会社

■ ホームページ
■ オンラインストア(部品購入窓口)

combi.co.jp
combi.co.jp/store

製品・部品に関するお問い合わせ、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)

受付時間：9:30～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271

TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109

*コンシューマープラザホームページ combi.co.jp/soudan